

- 1 教育事業名 「NEALリーダー養成事業」
- 2 ねらい 自然の中で感性を磨き、専門的な知識と技術を持って自然体験活動の普及や振興に貢献する自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。
- 3 期 日 令和8年2月21日（土）～2月23日（月） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 30名程度
- 6 参加人数 14名
- 7 参加者内訳 一般（12名） 大学生（1名） 高校生（1名）
- 8 講 師 與儀 滝太 氏（主任講師 国立沖縄青少年交流の家）
井上 桂 氏（下関深坂自然の森 森の家下関 所長）
北見 靖直 氏（国立能登青少年交流の家 所長）
小檜山 勇人 氏（沖縄県ライフセービング協会 ルタナントチーフ）

9 実施プログラム

2/21 (土)	潮汐:長潮 満潮9:02(191cm) 干潮15:15(25cm)															
	9:00		12:00		13:00		14:30		17:30		19:30		20:30		21:30	
		マリ ン ライ ナー	移 動	開 講 式	昼 食	ガ イ ダ ン ス	テ ン ト 設 営	自然体験 活動の特 質 ①	自然体験 活動の特 質 ②	自然体験活動 の技術① 野外炊事	入 浴	情 報 交 換 会		就 寝 準 備		
2/22 (日)	潮汐:若潮 満潮9:31(187cm) 干潮15:57(25cm)															
	7:30		9:00		12:00		13:00		15:00		18:00		20:30		21:30	
		自然体験活動 の技術② 野外炊事	自然体験活動の技術③ 海洋研修			昼 食	青少年教育に おける 体験活動		自然体験活動の 安全管理		自然体験活動 の技術④ 野外炊事		片 付 け	入 浴	就 寝 準 備	
2/23 (月)	潮汐:中潮 満潮10:03(180cm) 干潮16:48(28cm)															
	7:00		9:00		10:30		12:00		13:30		17:00		17:40			
		底 上 げ	朝 食	撤 収	対 象 者 理 解	自然体験 活動の指導	昼 食	ガ イ ダ ン ス	試 験	閉 講 式	記 念 撮 影	移 動	マリ ン ライ ナー			

10 事業の様子



ガイダンス



アイスブレイク



テント設営



海洋研修①



野外炊事



情報交換会



自然体験活動の特質



海洋研修②



青少年教育における体験活動



自然体験活動の安全管理



対象者理解



修了試験

11 参加者の声（アンケートより）

- 自然体験活動指導者というものがどういうものが良くわかった。
- 最初のレクから意図を組み立てて行っている事に感動した。学校でも実践します。
- 薪の割り方から炊事までひとつひとつ丁寧に説明があったこともあり自分自身が「できた」という体験が何度もあって嬉しかった。
- 対象者を理解するには段階があることが分かり、指導者もその段階に応じた対応が必用であることを知ることができた。
- しっかりと「学ぶ」という機会がなかったので、自分自身の活動の整理にもなった。
- 海の透明度が高くとてもきれいで、魚やサンゴ礁もみることができてよかった。
- 指導者目線で講義を受けることができ、今後の指導の仕方の参考になった。
- 自然体験に関する視野も広がり、今後の活動にも活かしていきたいと思う。
- 共に考え、実践する機会がたくさんあったのですごく勉強になった。
- 様々な場面を想定して具体的に計画をたてる必要性を感じた。

12 担当者所見

(1) 成果

- 様々な年齢層、経験値の差を持った参加者が講義や炊事等の活動を通して情報交換を行い、それぞれが刺激を受ける機会となった。
- 県外から井上氏、北見氏を招聘したことで、新しい取り組みや視点を持つきっかけ、つながりを作ることができた。
- 参加者が意見等を共有することで各プログラムの別案や取り組み方について学ぶことのできる機会となった。

(2) 課題

- 活動中の会話や交流会の中で、NEALリーダー、インストラクターの講習の開催を次年度も希望する声が聞かれた。
- 今回は、県外から井上氏、北見氏を招聘したが今後は予算面で厳しい状況になることが予測される。講師の選定が課題である。
- NEALの養成事業に限らず、今後は県内外の青少年教育施設との交流の機会、場の設定を積極的に設けることでプログラムの充実、開発、発展につなげて行くことが必用である。